



fu fu fu 幸せを感じたとき...

# 社会福祉法人 しがらき会

【法人事務局(信楽青年寮内)】

tel 0748-82-0588 fax 0748-82-0961

URL <http://www.shigaraki.or.tv> e-mail [shigaraki@miracle.ocn.ne.jp](mailto:shigaraki@miracle.ocn.ne.jp)

信楽青年寮  
ワークセンター紫香楽  
しがらき地域生活支援センター  
甲賀働き暮らし応援センター

(O・Y記)  
ここで得た経験を  
また利用者さん  
の作品作りに生  
かしていきたい  
と思っています。  
またその空間づ  
くりも大切にし  
ていきたいと思  
いました。



第十三回滋賀県施設合同企画展「障害がある人の進行形」が近江八幡にあるNOMIAにて行われました。信楽青年寮は一月十三日〜二月十二日後期の部に展示させて頂きました。今年は富増明司さんの陶器の行燈と絵画・西村巳代治さんのもみ殻焼きの陶板を出展しました。お二人の作品から出てくる人間味をうまくコラボできないか、出展の実行委員の皆さんと話し合いを持ち、離れにある蔵を使用しての作品展示になりました。土壁に年季のはいつた梁と太いむき出しの柱。展示しながらもあまりにもその蔵の雰囲気作品がうまくマッチしていき、なんともいえない高揚感が私自身の中にうまれてきました。行燈からこぼれでる柔らかな光が絵画と陶板を照らし、壁に取り付けた陶板も浮き上がったように見え、その一枚一枚も絵画のように見えていました。この時期は雪も多く外の銀世界から蔵の扉を開けた時のその幻想的な世界感に引き込まれた方も多かったのではと思っています。県内の施設の職員が集まりこの展覧会を作り上げてきました。展覧会について知識のない方も私も含め多くおられました。その人の魅力を伝える事、作品が生まれてくる経緯などその作品の背景を聞きながら展示プランなど話を進めてきました。私はその話しあい・時間がとても楽しく・良い時間を過ごすことが出来たと感謝しています。



## 青年寮のこれ一品

### 【春キャベツのマリネ風サラダ】

材料(4人分) 1人前-52kcal T-15分

- ◆春キャベツ...4~5枚(約250g)
- ◆新玉ねぎ...1/4個(約50g)
- ◆パプリカ...1/2個(約60g)

#### 【A】 【マリネドレッシング】

- ◆酢...大さじ1と1/2 ◆オリーブ油...大さじ1
- ◆コンソメ...小さじ2(6g) ◆しょうゆ...少々
- ◆粒マスタード...2g 【※お好みの量で】

#### 作り方

- ①春キャベツは1cm幅の細切りに、パプリカと新玉ねぎは薄切りにする。
- ②新玉ねぎは水にさらし、水気を切っておく。
- ③春キャベツとパプリカはサッと湯がき、水を切っておく。
- ④Aの全てを混ぜ合わせておく。
- ⑤全ての野菜をドレッシングで和える。

#### 【アドバイス】

★少し時間をおいて漬けておくと、味がなじんで美味しくなります。ハムやコーンを入れても美味しいです。



## しがらき地域活性化事業 第2回ワークショップ

## みんなでひな人形を作ろう!!



今年度より、FUJIKI(藤喜陶苑)の場を借りて活動している「しがらき地域活性化事業」では、2月18日に第2回目となるワークショップを開催致しました。今回は、3月3日の桃の節句にちなんで、陶器で出来たカップを用いてお雛様を作ろうという企画となり、日中活動の陶器班のみなさんの力をお借りし、たくさんの良いカップが出来上がりました。当日は午前9名、午後11名と青年寮・グループホーム・一般の方などたくさんの方にご参加頂き、毛糸を使って髪の毛にしてみたり「次はどれにしよう」とそれぞれに工夫をしてオリジナルのお雛様を作り、楽しい時間となりました。

## 第3回ワークショップ

「端午の節句」をテーマに「こいのぼりとかぶとをつくろう」をFUJIKIにて開催致します。

【参加費:無料。「ぼんた焼」もあります。】

\*町内在住の方ならどなたでも参加できます。

開催日時★平成29年4月22日(土)

- 午前の部 10:00~11:30 20名
- 午後の部 1:30~ 3:00 20名

参加希望の方は、信楽青年寮までご連絡お願い致します。(Tel:82-0588)



今月のおすすめケーキ  
「いちごいっぱいタルトケーキ」  
要予約 2,000円~です。



皆様にはいつもご利用いただき誠にありがとうございます。

営業日には「ぼんた焼」をあつあつでお買い上げいただけます。

お持ち帰り用クッキーも何種類かご用意しております。

皆様のご来店をお待ちしております。

- ◆開店時間 10:00~16:00 ◆定休日 水・木曜日
- ◆甲賀市信楽町牧1058-24 ◆Tel:83-1098

## ほのぼの交流会

3月11日に開催した「ほのぼの交流会」は、晴天にも恵まれ沢山の地域の皆様にお越し頂く事が出来ました。バルーンのリズム遊びや民生委員さんの協力のもと大いに盛り上がった「餅つき大会」また、サニーサイド"サニーズ"の皆さんによる大正琴の生演奏など、沢山の皆様との楽しいひと時を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。



# 「しがらき地域生活 支援センター」 だより

平成二十九年二月十八日(土) ました。

に滋賀県立陶芸の森において、信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会が主催をされました。「見守りネットワーク活動フォーラム2017」しがらき「近所にお元氣ですかと声かけて」が開催されました。ホール内は立ち見の方がでるほどの盛況で、フォーラムに対する関心の高さがうかがえました。

甲賀市長のあいさつ、基調講演、見守りネットワーク活動の実践報告があり、牧区健康福祉会さん、ながの自治振興会健康福祉部会さん、しがらき地域生活支援センターからの三題があり

この信楽のまちには、障がい分野のグループホームが十九ヶ所あり、その中でしがらき地域生活支援センターの所属である一つのグループホームでの暮らしをキーパーが実践として報告をさせていただきます。

報告ではグループホームの入居者が、ごみを捨てる際は自治会のゴミステーションを使用し、近所の方と一緒にごみの仕分けをされていたり、ご近所さんから正月飾りのみかんを探りに来られる声も「これ」とたくさんいただいたり、と地域の方々との普段

の光景を紹介させていただきました。また、急な土手までみかんを採ってくれるご近所さん。「気を付けてや」と気遣うホームの人。たくさんのみかんを頂きとても嬉しそうにする姿。近所の方々のごく自然な姿が日常としてあることが嬉しく、共生のまち信楽の一面ではないかと感じました。

障がいがあっても、なくても、いち住民として自然な関わり合いが、顔なじみになり障がいのある人がまちの中に消えていくこと。まさに共生の姿でした。

まちの中のいろいろな所で、いろいろな場面に遭遇すると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

しがらき地域生活支援センター 甲賀市信楽町長野1245

# 「甲賀働き暮らし 応援センター」 だより

平成二十八年年度、雇用・生活支援センターは甲賀市より新たに生活困窮者就労準備支援事業を受託すると共に新戦力として二名の職員を迎えて、新体制を発足させました。新体制では各障がい分野に特化した、より専門的で、より質の高い支援を提供するため、圧倒的に登録者数の多い障がい者の方への支援を行うチーム、多面との連携等、複雑多様な支援が必要とされる精神障がい者、身体障がい者の方への支援を行うチーム、新たに対象となった生活困窮者の方への支援を行うチームの三本柱を作り、職員が各分野に分かれることとなりました。

私自身は精神障がい者、身体障がい者の方の支援を行うチームに於いて相談員をさせて頂いており、近年、急増する発達障がいの方に加え、難病患者の方や社会的ひきこもりの方、性同一性障害の方など、手帳の有無に関わらず、あらゆる就労困難者の方や、そのご家族からの相談が次々と寄せられています。就労支援の必要性は多方面に渡り、その需要は増々、高まっていることを実感しています。

そんな中で私たちが大切にしていくこと。それは「取りこぼしのない支援」です。相談者一人ひとりを大切に、就職支援だけではなく、定着支援にも力を入れ、そ

の方に応じたツールを用いて、継続的な支援を行っています。また、他機関との連携も大切に考えています。福祉、行政、教育等、各々が自分たちの役割を少しずつ超えて、切れ目のない支援のネットワークを形成していこうという「のりしろ支援」を呼びかけ、強固な支援体制作りにも取り組んでいます。地域の就労支援の拠点としての役割を果たすべく、職員一同、奔走する毎日を送っております。とは言え、私たちだけでは対応しきれないのも現状です。そこで、地域の皆様にもお力添えを賜りますようお願いするところであります。

(満田 記)

甲賀働き暮らし応援センター 甲賀市水口町水口6200 (甲賀県事務所本館1階)

# 「ワークセンター紫香楽」より 「こんには

## 紫香楽和紙と手漉き和紙商品

ワークセンター紫香楽では、和紙を代表する原料である、楮(こうぞ)を原料とした和紙『紫香楽和紙』を作成しています。天然楮100%を使用した紫香楽和紙は、原料作りからはじめ、手漉き和紙職人が一枚一枚丁寧に、良品にこだわり漉いています。漉き上がった和紙は、加工職人がひとつひとつ心を込め、全て手作業で商品作りを行っています。また、地域のボランティアの方にもご協力をいただき和紙を作成していること、より多くの方に「紫香楽和紙」を知っていただき、長く親しまれるようにと専門的な知識を持ったデザイナーの方にもご協力をいただき、商品開発から商品パッケージ、販路など考察、検討を繰り返し、「紫香楽和紙」を作成しています。今回は、ワークセンター紫香楽が作る和紙商品の一部をご紹介します。



ワークセンター紫香楽 甲賀市信楽町神山494-1 TEL 0748(82)2198 紫香楽和紙は登録商標です

- ・ポチ袋各種 年間を通してよく出る商品です。趣のある草木柄からポップな絵柄まで種類が豊富。ポチ袋だけでなく、メッセージ袋としても活躍します。
- ・封筒・一筆箋・はがき ちよつとしたメッセージから手紙まで、和紙で誰かに想いを伝えてみませんか？ はがきは、毎年開催される信楽図書館での「絵はがき展」でも使用されています。

# ダブルクリック 私の視点

「ご飯美味しかったわ!」「明日のパン、何パン?」この元気な利用者さんの声に返答し、「コミュニケーションを取るのが私の楽しみでもあります。利用者さんの顔の表情で心と体の調子がわかるのではないかと思います。毎日の日課としてあります。近年、利用者さんの高齢化が進み、食事形態が細分化されてきました。現在では、ゼリー食・軟菜食・減塩食・刻み食・普通食を厨房で行っています。利用者さんがいつまでも健康で食事を美味しく楽しんで頂きたいという思いで毎日調理しています。」

(小牧 記)

# 職員コラム

大学時代よくキャンプに行きました。卒業してからめっきりしなくなりましたが、また年に2、3回程するようになりました。旅館などに泊まる旅行も良いですが、食事の時間も決まっている為それに合わせて行動しなければならぬのが苦手です。その点、キャンプは好きな時間に起きて、好きな時間に食べ、好きな時間に風呂に入りと自由に出来ますし、天気の良い時は外で過ごすのとても気持ちが良いです。なんととっても旅館に泊まるより断然安いです。今年も暖かくなってきたので、春に早速キャンプしたいと思っています。(K・I 記)